



2020年8月25日発行

# 会員だより 2020年9月号

NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり  
〒146-0094 大田区東矢口 3-17-2-103  
Tel&Fax. 03-3734-7932 / npoogc@yahoo.co.jp  
<http://hanamidori.sakura.ne.jp/>



## 引き続き、会員及び関係する皆さまの安心・安全な活動を第一優先とし 新型コロナウイルス感染拡大防止への配慮に、ご協力をお願いいたします

4月以降、会の活動現場において、感染防止のため「検温」「消毒」「マスク着用」など、個々人の配慮のお願いと、その場の目的を最低限達成しうる範囲で参加者数を極力減らす人員配置によって、活動を継続しております。活動現場だけでなく、運営に必要な会議も「人が集まる」形を避けるため休止しておりました。

7月からは引き続き感染防止策として「消毒」「距離を保つ」「できるだけ短時間で」「飲食は伴わない」などを徹底しながら、必要最小限の会議を再開しています。7月には今年度第一回目の理事会を開催しました。この場で改めて、今後の会の活動方針について、話し合いました。

1. 会員全員が健康で、安全に、活動できることを第一に優先する（コロナ以前より引き続き）
2. with コロナの時代において、心身ともにコロナに負けないために、仲間同士協力し合う
3. 会の内部だけでなく、社会情勢にも配慮しつつ、臨機応変な対応を心掛ける

これまで以上に、知恵と工夫を結集しつつ、会員個々人としてできること、会としてできることを結集していきたく考えています。今後ともご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

### 運営委員会より・・・各事業の現在の状況について（8月末～9月）

※熱中症対策のため、各活動現場では、こまめに休憩をとり2時間以内で作業を終了する

※活動カレンダーを同封しておりますが、下記のとおり、ほとんどの活動において、通常の活動参加者による『参加者指名制』になっておりますので、ご注意ください。

蒲田・本庁舎花壇	花壇の維持管理活動に関しても引き続き「出動スタッフ指名制」のとおり進める。
大森・入新井花壇	熱中症による危険度も高い時期であることから、この体制を当面の間、継続予定。
下丸子花壇	担当者+aのごく少人数で、作業を実施（灌水の一部をトラック隊が担当）
大森南圃場	日直と担当者（または副）の2名で、必要最低限の管理作業を実施。
南久が原圃場	活動日に担当者（または副）+2名（指名）で、必要最低限の管理作業を実施。
花苗生産 大森南	9月より、秋花苗育成活動開始のため、活動人数等調整中。プラグ苗のポット上げ作業は行うが、オープンデーとしては開催せず。
花苗生産 南久が原	
区民農園	活動日に担当者+aで必要最低限の管理作業を実施。
みどりの縁側	一部開館（トイレ利用+活動室半面を開放中。）1日2名のスタッフで運営。
大岡山駅前花壇	9月26日（土）に活動予定。参加希望者は要申込み。（雨天時等連絡のため）
18色の緑づくり	当面の間、活動計画なし。
みどりのイベント	当面の間、活動計画なし。（今年度、ほとんどのイベントが中止の模様です）
ふれあいパーク	担当者+a（少人数）にて、必要最低限の活動を実施。
せせらぎグリーンメイト	9月はセミナー、山野草育成活動ともに再開予定（参加者事前申し込み）
みどりネットワーク	当面の間、活動計画なし。
子どもと福祉の庭：東	施設ごとに調整を行い、最小限の人数で作業を実施。
子どもと福祉の庭：西	当面の間、活動計画なし。
新・GHC	当面の間、活動計画なし。
新・歴史と花のまちあるき	当面の間、活動計画なし。
企画事業部	区民協働助成金事業としてのコミュニティガーデン講座のみ開催中。

## 安全コラム

最近、温暖化の影響からか、ハチや毛虫など害虫の活動が活発になっているように感じられます。スズメバチやアシナガバチなど、刺されると命の危険もある虫が、圃場や駅前花壇、区民農園、みどりの縁側などでも見受けられます。そこで、主に当会の活動現場で見受けられ、植物だけでなく、人に害を与える主な虫について、事務局安全担当主催のミニ講習会を開催しました。急な開催だったことと、集まるのが難しい時期ですので、まずは各現場のリーダーさんに知っておいてもらいたい、ということで、運営委員の皆さんに呼びかけての開催、となりました。(講師：阿部敏章)

### ■スズメバチ



★予備知識（刺されないように注意するために）

作業服は、黒色のものを避ける。香りの強いものは身につけない。  
周囲でハチが飛んでいたら行き先を見ておく。  
枝ややぶの中に巣を作ることが多いので、刈り込み作業や除草作業の場合、竹箒等で叩いて蜂の有無を確認する。地中でも巣を作るので振動を与えてハチの有無を確認する。  
『スズメバチ用殺虫剤』を使用する。

★もし、刺されたら！・・・応急処置

蜂の毒は水溶性のため水で流す。傷口を冷やす。  
毒吸引器『ポイズンリムーバー』を使用して毒を吸い出す。(通販で購入可) そのあと傷口にステロイド、抗ヒスタミン軟膏を塗る。  
速やかに皮膚科を受診する。

### ■イラガ



★予備知識（刺されないように注意するために）

当会が管理している現場ではよく見受けられる。(主に区民農園)  
感電したような痛みがあるので通称「電気ムシ」と呼ばれる。  
雑食性で多くの樹木(ベニカナメモチ、ウメ、イチヨウ、ツゲ等)に発生する。殺虫剤は予防散布は効果なく、直接散布が効果的。  
作業前に有無を確認し、発見したら、枝の根元から剪定してゴミ袋へ入れる。

★もし、刺されたら！・・・応急処置

流水でよく患部を洗い流し、虫さされ薬を塗る(抗ヒスタミン含有のステロイド軟膏が、痛みやかゆみを抑えるのによく効く)  
痛みが治まらない場合は、早めに皮膚科を受診する。

### ■チャドクガ

ツバキ科の樹木(ツバキ、サザンカ、チャノキ、ヒメシャラ等)に発生しやすいのですが、最近公園等では、これらの樹木が伐採されることが多くなり、当会の現場では、あまり見受けられなくなった。上記の樹木の手入れをするときは、要注意。

★今月の会員だより同封物★

活動カレンダー、活動アンケート、花とみどりのつどい案内